

## 熱水性細菌由来のネイティブホスホフルクトキナーゼ

Cat. No. DIA-403

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明** ホスホフルクトキナーゼは、解糖系においてフルクトース-6-リン酸をリン酸化するキナーゼ酵素です。ATPからリン酸基を転送する酵素触媒反応は、さまざまな生物学的プロセスにおいて重要な反応です。この反応を利用する酵素の一つがホスホフルクトキナーゼ (PFK) であり、フルクトース-6-リン酸をフルクトース-1,6-ビスリン酸にリン酸化する反応を触媒し、解糖経路における重要な調節ステップとなっています。PFKは、細菌や哺乳類ではホモテトラマーとして存在し（各モノマーは2つの類似ドメインを持つ）、酵母ではオクタマーとして存在します（4つのアルファ-(PFK1)と4つのベータ鎖(PFK2)があり、後者は哺乳類のモノマーのように2つの類似ドメインを持っています）。このタンパク質は、アロステリック調節のモルフィーンサモデルを使用する可能性があります。

**用途** 診断テスト

**別名** PFKWII; EC 2.7.1.11; PFK; ホスホフルクトキナーゼ; 6-ホスホフルクトキナーゼ; ホスホフルクトキナーゼ I; ホスホヘキソキナーゼ

### 製品情報

由来	好熱性細菌
形態	凍結液体
EC番号	EC 2.7.1.11
CAS登録番号	9001-80-3
最適pH	10.5
熱安定性	80°Cで1時間後の100%の安定性
緩衝液	20 mM トリス-HCl (pH 7.5)、20 mM KCl
単位定義	1ユニットは、基質としてフルクトース6-リン酸を使用して、1分間に1 $\mu$ molのNADH ( $\epsilon_{340}=6.22 \text{ mM}^{-1} \text{ cm}^{-1}$ ) を酸化する酵素の量として定義されます。

### 保管・発送情報

**保存方法** -20°Cで保管してください